

# 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月1日

上場取引所 JQ

上場会社名 アールビバン株式会社  
 コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野澤克巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部総務グループ マネージャー (氏名) 柴田 航  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

TEL 03-5159-7177

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,757	△20.9	158	△31.3	223	△12.5	102	△11.4
20年3月期第1四半期	2,221	△9.4	230	48.5	255	49.0	115	117.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	7.43	—
20年3月期第1四半期	8.33	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
21年3月期第1四半期	18,728	78.8	14,763	78.8	78.8	1,072.85
20年3月期	19,370	76.7	14,860	76.7	76.7	1,079.91

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 14,763百万円 20年3月期 14,860百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,600	△20.1	190	△62.6	200	△64.2	60	△68.8	4.36
通期	7,100	△14.2	540	23.6	550	27.3	230	—	16.71

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧ください。

### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期 15,463,816株	20年3月期 15,463,816株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期 1,702,940株	20年3月期 1,702,940株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期 13,760,876株	20年3月期第1四半期 13,851,976株

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、昨年来のサブプライムローン問題を発端にしたアメリカ経済の減速や、原油価格の高騰による度重なるガソリン価格、商品価格の値上げ等もあり景気の先行きに対し、不透明感・不安感が広がりました。このため景気の減速感がますます強まり、消費活動は盛り上がり欠ける状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、新規顧客重視の営業政策とさらなる経費の削減を目指して活動してまいりました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高1,757百万円（前年同期比20.9%減）、営業利益158百万円（前年同期比31.3%減）、経常利益223百万円（前年同期比12.5%減）、当期純利益102百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

#### ◆アート関連事業

『スタンダードアート』の部門におきましては、展示販売会を週末を中心としたショッピングセンターでの開催にシフトし、新規顧客の獲得により一層注力してまいりましたが、また、今期より地方営業所や常設店舗を廃止する事による経費の削減・効率化の推進にも取り組んでまいりました。

一方、『イラスト系アート』の販売は、引き続き堅調に推移いたしました。

その結果、売上高1,106百万円（前年同期比23.3%減）、営業利益119百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

#### ◆金融サービス事業

当社顧客への販売代金の割賦販売斡旋業務を引き続き行ってまいりましたが、新規契約件数・金額の減少により、売上高253百万円（前年同期比20.3%減）、営業利益163百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

#### ◆リゾート事業

4月に実施いたしましたホームページのリニューアル効果もあり、インターネットによる予約は好調に推移いたしました。株主優待制度の条件変更による利用客数の減少やそれに伴う料飲部門・タラソセラピー部門の利用率の伸び悩みもあり客室稼働率の低下をカバーするには至りませんでした。

その結果、売上高264百万円（前年同期比28.9%減）、営業損失82百万円（前年同期は4百万円の利益）となりました。

#### ◆健康産業事業

本年4月に「カルナブランド」の2号店となる「カルナ スタジオプラス」を川崎市にオープンし、その会員獲得数は計画通りに推移したものの、エステ部門の利用率が伸び悩んだ事、また、「カルナ フィットネス&スパ」において、「入会金無料キャンペーン」により会員獲得数はほぼ予定通りに推移したものの、入会金収入が減少いたしました。

その結果、売上高136百万円（前年同期比40.4%増）、営業損失47百万円（前年同期は78百万円の損失）となりました。

#### ◆その他の事業

『ゴン・デザイン札幌』におきまして引き続き家具の販売を致しております。

その売上高は、6百万円、営業損失7百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間から事業の種類別セグメントを変更したため、前年同期比較にあたっては前年同四半期分を変更後の区分に組み替えて行なっております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、金融サービス事業における割賦債権の減少等により、受取手形及び売掛金が511百万円減少により、前連結会計年度末に比べ641百万円減少し、18,728百万円となりました。

また、負債につきましては、割賦繰延利益や未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ544百万円減少し、3,964百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少により、前連結会計期間末に比べ97百万円減少し、14,763百万円となりました。

#### ② キャッシュフローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、売上債権の減少額511百万円等により資金が増加したものの、法人税等の支払や配当金の支払により減少し、前連結会計年度末に比べ112百万円増加し、4,212百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は237百万円(前年同期比70.2%減)となりました。

これは主に売上債権の減少額511百万円、税金等調整前四半期純利益209百万円等あったものの、法人税等の支払額203百万円、割賦繰延利益の減少額170百万円等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は29百万円(前年同期は46百万円の使用)となりました。

これは主に敷金及び保証金の返還による収入等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は206百万円(前年同期比59.4%減)となりました。

これは主に配当金の支払等であります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月21日の決算発表時に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価引下げを行なう方法によっております。

##### ② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,212,904	4,100,738
受取手形及び売掛金	8,599,247	9,110,343
商品	398,074	432,852
製品	37,412	11,781
原材料	12,338	12,334
仕掛品	3,879	1,222
貯蔵品	70,378	61,480
前払費用	432,895	484,685
繰延税金資産	495,385	506,603
その他	317,798	372,045
貸倒引当金	△69,006	△67,958
流動資産合計	14,511,309	15,026,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,660,998	2,633,679
減価償却累計額	△855,565	△829,259
建物及び構築物(純額)	1,805,433	1,804,419
土地	324,468	331,768
建設仮勘定		31,566
その他	545,079	548,578
減価償却累計額	△273,670	△279,299
その他(純額)	271,408	269,279
有形固定資産合計	2,401,309	2,437,033
無形固定資産		
のれん	40,122	44,574
その他	44,352	35,776
無形固定資産合計	84,474	80,351
投資その他の資産		
投資有価証券	935,955	977,918
敷金及び保証金	382,997	439,041
繰延税金資産	133,625	132,327
その他	347,294	341,770
貸倒引当金	△68,798	△64,534
投資その他の資産合計	1,731,074	1,826,523
固定資産合計	4,216,859	4,343,908
資産合計	18,728,168	19,370,039

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	129,775	190,978
未払法人税等	135,520	245,076
賞与引当金	119,403	88,516
返品調整引当金	20,760	42,181
割賦利益繰延	2,013,599	2,184,440
その他	1,174,682	1,393,207
流動負債合計	3,593,742	4,144,400
固定負債		
退職給付引当金	10,516	9,914
役員退職慰労引当金	334,459	329,373
その他	26,071	25,807
固定負債合計	371,047	365,095
負債合計	3,964,789	4,509,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,656,000	1,656,000
資本剰余金	6,706,301	6,706,301
利益剰余金	7,563,519	7,667,730
自己株式	△1,138,565	△1,138,565
株主資本合計	14,787,256	14,891,467
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△23,877	△30,923
評価・換算差額等合計	△23,877	△30,923
純資産合計	14,763,378	14,860,543
負債純資産合計	18,728,168	19,370,039

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

売上高	1,757,718
売上原価	767,084
売上総利益	990,634
販売費及び一般管理費	832,089
営業利益	158,544
営業外収益	
受取利息	783
受取配当金	4,850
為替差益	47,293
投資事業組合運用益	3,016
その他	10,254
営業外収益合計	66,198
営業外費用	
不動産賃貸費用	1,440
その他	106
営業外費用合計	1,547
経常利益	223,196
特別利益	
前期損益修正益	692
特別利益合計	692
特別損失	
固定資産除却損	1,284
貸倒引当金繰入額	3,711
店舗閉鎖損失	8,697
その他	1,017
特別損失合計	14,711
税金等調整前四半期純利益	209,177
法人税、住民税及び事業税	101,888
法人税等調整額	5,086
法人税等合計	106,974
四半期純利益	102,202

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	209,177
減価償却費	46,097
のれん償却額	4,452
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,311
受取利息及び受取配当金	△5,633
為替差損益 (△は益)	△35,632
売上債権の増減額 (△は増加)	511,096
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,412
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61,202
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30,886
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	602
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,086
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△21,420
固定資産除却損	1,284
投資事業組合運用損益 (△は益)	△3,016
前払年金費用の増減額 (△は増加)	5,934
前払費用の増減額 (△は増加)	51,790
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	△170,841
その他	△136,661
小計	434,899
利息及び配当金の受取額	5,633
法人税等の支払額	△203,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	237,455
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△18,834
無形固定資産の取得による支出	△12,840
敷金及び保証金の差入による支出	△53,235
敷金及び保証金の回収による収入	109,280
その他	4,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,244
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△206,413
その他	264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	489
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	61,040
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	51,125
現金及び現金同等物の期首残高	4,100,738
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,212,904

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	アート関連事業 (千円)	金融サービス事業 (千円)	リゾート事業 (千円)	健康産業事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	1,106,822	253,031	264,226	136,831	6,511	1,767,423	(9,704)	1,757,718
営業費用	986,924	89,270	346,595	184,181	13,563	1,620,535	(21,361)	1,599,174
営業利益 (又は△損失)	119,897	163,760	△82,369	△47,349	△7,052	146,887	11,657	158,544

(注) 1. 事業区分は、提供するサービスの類似性を考慮して、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な事業の内容

アート関連事業	版画等絵画の販売及びこれに付随する事業
金融サービス事業	割賦販売斡旋事業
リゾート事業	リゾートホテルの運営
健康産業事業	ヨーガスタジオ、フィットネスクラブの営業
その他の事業	家具販売事業

3. 事業区分の方法の変更

従来、イラスト系雑誌の出版は出版事業として「その他の事業」の区分に属しておりましたが、内部管理上、事業としての独自性が低下し、アート関連事業のイラスト系作家開発に付随して行われることが多くなってきたことから、事業の実態を反映したより適正なセグメントで表示するため、当第1四半期連結累計期間より、所属する区分を「アート関連事業」に変更いたしました。

なお、前年同四半期のセグメント情報を、当第1四半期連結累計期間において用いた事業区分の方法により区分すると、アート関連事業の売上高は1,443,380千円、営業利益は100,393千円、その他の事業の売上高は16,091千円、営業損失は14,256千円となります。

4. 営業費用の中に配賦不能営業費用はありません。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)  金額(千円)
I 売上高	2,221,296
II 売上原価	934,523
売上総利益	1,286,773
III 販売費及び一般管理費	1,056,055
営業利益	230,717
IV 営業外収益	
1. 受取配当金	6,153
2. その他	18,541
営業外収益合計	24,695
V 営業外費用	288
経常利益	255,124
VI 特別利益	—
VII 特別損失	
1. 事業所閉鎖損	171
2. その他	1,586
特別損失合計	1,758
税金等調整前四半期純利益	253,366
税金費用	138,033
四半期純利益	115,333

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	253,366
減価償却費	48,070
売上債権の減少額	735,982
たな卸資産の減少額	48,033
割賦繰延利益の減少額	△240,277
その他	△473
小計	844,702
法人税等の支払額	△49,658
その他	2,360
営業活動によるキャッシュ・フロー	797,404
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△30,141
投資事業組合からの分配による収入	37,658
投資事業組合への払込による支出	△7,726
その他	△46,361
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,571
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純増減額	△300,000
配当金の支払額	△207,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	△507,779
IV 現金及び現金同等物の増加額	243,053
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,463,467
VI 現金及び現金同等物の期末残高	2,706,521

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

	アート関連事業 (千円)	金融サービス事業 (千円)	リゾート事業 (千円)	健康産業事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	1,386,895	317,281	371,616	97,428	72,576	2,245,799	(24,502)	2,221,296
営業費用	1,287,712	117,354	367,134	176,334	85,621	2,034,158	(43,579)	1,990,578
営業利益 (又は△損失)	99,182	199,927	4,482	△78,905	△13,044	211,641	19,076	230,717

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。